

子どもの食糧支援 食糧でつなぐかわさき区

川崎区社会福祉協議会では、令和7年度も引き続き、たじま家庭支援センターやふれあい館、行政などの関係機関と連携し、食事をされているかが気がかりなご家庭のお子さん等に対して、食糧支援を行っています。

おにぎりキャラバン実施しました

10月11日(土) 小規模多機能ホーム縁にて、おにぎりキャラバンを実施しました。多くの子どもたちが参加し、民生委員児童委員の方々や市立川崎高校の生徒たちと一緒に米を洗う、炊く、にぎる、おいしく食べるところまで行いました。栄養講座では、ごはんやおにぎりなどにまつわる○×クイズをして楽しく栄養を学べる場になりました。

子どもたち自身が好みの具材を選び、おにぎりを握る姿には、自力で何かを完成させる喜びに自然と笑顔があふれていました。ご協力してくださった地域の方々や施設職員の方々もあたたかく子どもたちを見守り、アドバイスを送っていました。

次回は、同会場で2月頃に行う予定です。

イベントでのフードドライブ



11月8日(土)に開催された川崎区社協福祉まつりで食糧回収ボックスを設置し、フードドライブの取組みを行いました。

また、かわさき区子育てフェスタ2025でも回収ボックスを設置しました。

今後も、社会福祉協議会が参加するイベント等の場で行う予定です。実施予定は随時川崎区社会福祉協議会ホームページにも掲載します。

皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いします。

レトルト食品等も引き続き募集中です。
ご不明な点はお気軽にお問合せください。

食糧のご寄付をいただける方・団体については、下記までご連絡ください。

川崎区社会福祉協議会 044-246-5500
kawasakiku@csw-kawasaki.or.jp



お問い合わせ
川崎市川崎区社会福祉協議会
TEL:044-246-5500



おにぎりキャラバンの様子



川崎区社協福祉まつりの様子

お米のご寄付のご協力をお願いいたします。

緊急の
お願い

主食である「お米」の確保が極めて困難な状況です。ご寄付いただけるお米がありましたら、お力添えをお願いします。皆様のあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

●注意点●

精米後1年以内を目安とし、未開封で品質に問題ないお米を募集します。
玄米も歓迎いたします。

ほほえみコーナー

ご寄付をいただきました。
誠にありがとうございます。

●山中 徹 様
令和7年7月1日～9月30日



区協ホームページ

川崎区の役立つ福祉情報をお届け



第123号
令和8年1月
【発行部数】
39,000部

●川崎区社会福祉協議会

発行

川崎区社会福祉協議会
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビルB-1棟6階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
Email kawasakiku@csw-kawasaki.or.jp
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

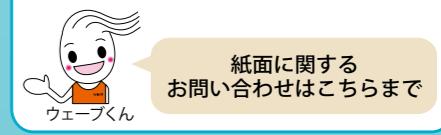
区社協HP



【発行人】
島田 潤二
【編集人】
編集委員会

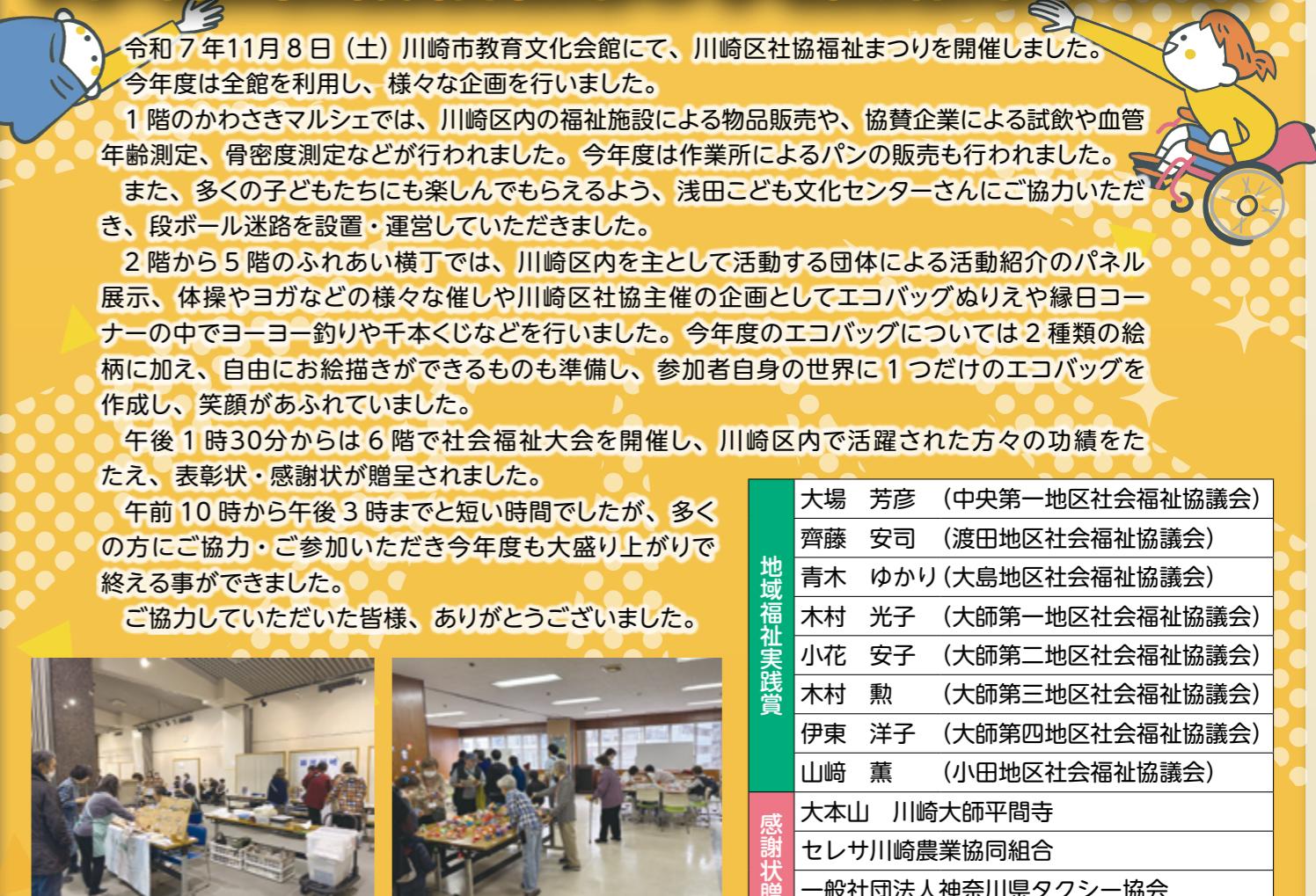
目次

- 令和7年度川崎区社協福祉まつり開催報告
- 令和7年度街頭募金の報告
- 地区社協のトピックス
・大師第四地区社協 ・田島地区社協
- 川崎区内老人いこいの家案内
- 子育て支援について
ほかほか通信
- ウェーブくんが行く
身近な地域の福祉施設・団体
- 川崎区ボランティア情報紙「いっぽ」
- 子どもの食糧支援について
ほほえみコーナー



紙面に関する
お問い合わせはこちまで

令和7年度 川崎区社協福祉まつりを開催しました!



令和7年11月8日(土)川崎市教育文化会館にて、川崎区社協福祉まつりを開催しました。
今年度は全館を利用し、様々な企画を行いました。

1階のかわさきマルシェでは、川崎区内の福祉施設による物品販売や、協賛企業による試飲や血管年齢測定、骨密度測定などが行われました。今年度は作業所によるパンの販売も行われました。
また、多くの子どもたちにも楽しんでもらえるよう、浅田こども文化センターさんにご協力いただき、段ボール迷路を設置・運営していただきました。

2階から5階のふれあい横丁では、川崎区内を主として活動する団体による活動紹介のパネル展示、体操やヨガなどの様々な催しや川崎区社協主催の企画としてエコバッグぬりえや縁日コーナーの中でヨーヨー釣りや千本くじなどを行いました。今年度のエコバッグについては2種類の絵柄に加え、自由にお絵描きができるものも準備し、参加者自身の世界に1つだけのエコバッグを作成し、笑顔があふれています。

午後1時30分からは6階で社会福祉大会を開催し、川崎区内で活躍された方々の功績をたたえ、表彰状・感謝状が贈呈されました。

午前10時から午後3時までと短い時間でしたが、多くの方にご協力・ご参加いただき今年度も大盛り上がりで終える事ができました。

ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。



かわさきマルシェの様子



ふれあい横丁の様子

地域福祉実践賞	大場 芳彦 (中央第一地区社会福祉協議会)
	齊藤 安司 (渡田地区社会福祉協議会)
	青木 ゆかり (大島地区社会福祉協議会)
	木村 光子 (大師第一地区社会福祉協議会)
	小花 安子 (大師第二地区社会福祉協議会)
	木村 勲 (大師第三地区社会福祉協議会)
	伊東 洋子 (大師第四地区社会福祉協議会)
	山崎 薫 (小田地区社会福祉協議会)
	大本山 川崎大師平間寺
	セレサ川崎農業協同組合

一般社団法人神奈川県タクシー協会

山岸 雅樹

(敬称略)

赤い羽根共同募金 街頭募金を実施しました！

10月1日から5日、19日に区内駅周辺、商業施設店舗前で街頭募金を実施いたしました。1日には川崎市長をはじめ、川崎フロンターレのマスコットキャラクターふろん太より、川崎駅前で活動してくださっている街頭募金ボランティアへの激励が行われました。

令和7年度実績 1,007,577円

激励出発式の様子

中央第一地区社会福祉協議会

中央第二地区社会福祉協議会

小田地区社会福祉協議会

田島地区社会福祉協議会

大師第四地区社会福祉協議会

大師第三地区社会福祉協議会

大師第二地区社会福祉協議会

大師第一地区社会福祉協議会

障害者作業所連絡協議会

ガールスカウト神奈川県第14団

実施期間中は雨天や気温が高い日もあり、天候が不安定でしたが、地域の皆様のご協力のもと、今年度も無事に街頭募金を実施することができました。

「町の人のやさしい気持ち」を集める活動である共同募金運動は、皆様のご協力によって成り立っています。お互いに声を掛け合い、ご協力いただいた寄付金は地域の福祉活動に役立てられています。

街頭募金は終了しましたが、共同募金運動は3月31日まで実施しておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

地区社協のトピックス

地区社会福祉協議会とは？

地域の福祉課題の解決に向け、地域住民全員が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに支え合うことを目的とした任意団体です。

大師第四地区社会福祉協議会 地域の居場所「みんなのごはん」

大師第四地区社会福祉協議会では、子どもの食糧支援として町内会館をお借りし、「みんなのごはん」を年3回開催しています。

開催時には、地域の方々や地元企業からのご寄付、社会福祉協議会の助成金を活用して購入した食糧の配布と交流を行っています。暑い時期にはたくさんの種類のシロップが用意されたかき氷、寒い時期には温かいココアなどをふるまっています。区社協で作成したエコバッグいっぱいに詰められた食糧とかき氷やココアを手にした子どもたちは嬉しそうに会館前に用意された椅子に座り、同じく食糧を受け取りに来た友人と楽しく会話をする様子も見られ、また、実施回数を重ねることで活動が地域に根付いてきているように感じます。

今後も食を通じて子どもたちの健やかな成長を見守りながら、地域の子どもを地域で育てるこことを意識し、つながりを育んでいけたらと思っています。

渡田地区社会福祉協議会

大島地区社会福祉協議会

田島地区社会福祉協議会 みんなでつながる「カレーサロン」笑顔あふれるひととき

ひとり暮らし高齢者の方をはじめ、地域の誰もが気軽に立ち寄れる居場所として田島いこいの家と桜本いこいの家を会場にして「カレーサロン」を開催しています。参加費は200円で、80人ほどが集い、毎回賑わいを見せている催しです。

開催日に合わせて町内会婦人部の方々にカレーの仕込みからお願いしています。

当日は香り豊かな手作りカレーを囲みながら、参加者同士が笑顔で交流し、「久しぶりに人とゆっくり話せてうれしい」「みんなで食べると、カレーがよりおいしく感じるね」といった声が聞かれました。

町内会の方々や関係機関の方などが力を合わせて、さらに世代や立場をこえて参加者が集まることで、地域のつながりが広がっていることを感じます。

年4回の活動ですが、これからも地域の居場所として活動を続けていきたいと思います。

この広報紙は共同募金の配分金などを財源として発行しています。

川崎区内老人いこいの家のご案内

川崎区には9館の老人いこいの家(通称:いこいの家)があり、川崎市内在住の60歳以上の方々にご利用いただいております。「団体」で利用することも可能ですが、新たにご利用を考えている方、ご興味のある方々お気軽にご見学ください。

※ご利用にあたり注意事項がありますので、各館にてお気軽にお尋ねください。

講座・行事など、各いこいの家の様子をご紹介します。



大師いこいの家「元気アップ体操」
電話 044-277-7979



小田いこいの家「異世代交流「盆踊り」」
電話 044-344-3387



藤崎いこいの家「フラワー・アレンジメント」
電話 044-222-7773



田島いこいの家「異世代交流「ミニ縁日」」
電話 044-366-2811



大島いこいの家「おなか元気教室」
電話 044-233-8867



桜本いこいの家「健康チェック」
電話 044-277-5125



京町いこいの家「笑いヨガ」
電話 044-344-0184



渡田いこいの家「元気ヨガ」
電話 044-366-4075



殿町いこいの家「スマホ教室」
電話 044-287-9108

教養講座をはじめとして多種多彩な講座や活動を開催しています

いこいの家では、教養の向上、心身の健康増進などを図るために教養講座を開催しています。毎年、新規参加者の募集をしています。例年2月からの申し込み開始を予定しておりますが、開催の詳細につきましては各館にて申込期間等お問い合わせください。

【主ないこいの家の活動】

介護予防講座、世代間交流事業、団塊の世代向け講座、ボッチャなどのスポーツ、作品展、救命救急講座、健康の日(毎週1回健康チェック)、囲碁・将棋・麻雀(館によります)、スマホ講座、各種相談 等



子育て支援について

かわさき区子育てフェスタ2025

令和7年11月30日(日)に開催された「かわさき区子育てフェスタ2025」に参加しました。前回までの川崎市教育文化会館での開催から、市役所本庁舎に変わった開催でした。当日は子どもだけでも400人近く参加があり大盛況でした。

川崎区社会福祉協議会では、民生委員児童委員(主任児童委員)の方々と一緒に参加しました。出張子育てサロンではジョイントマットを敷き、各地区で行われている子育てサロンの雰囲気を再現したほか、カフェコーナーではちょっと一息つけるように飲み物を提供しました。サロンには、川崎区保育・子育て総合支援センターの方や川崎区民営保育所の方がいてください、来場された方々と世間話をしながら情報提供を行いました。合間に読み聞かせや簡単な遊びも行い楽しめた工夫も盛り込みました。

また、折り紙ボランティアグループ「紙ひこうき」さんにも参加してもらいました。ボランティアさんが作ったカエルを使ってレースを開催したり、飛ばしたカエルの距離を測ったりもしました。帰りはお土産としてお菓子や折り紙の剣などを渡しました。短い時間でしたが、多くの方に来場いただきとても良い雰囲気でした。

併せて赤い羽根共同募金(イベント募金)やフードドライブも行いました。前回に続き、フードドライブの目印としてカバの入れ物を設置しました。



こどもニコニコ(^0^)グッズ

子育てサークルやボランティアグループなどを対象に、大型絵本やエプロンシアターなどを貸し出しています。大型絵本は言葉の通り大きな絵本で迫力満点!読み聞かせ等で活用いただいているので、ぜひご活用ください!

様々なイベントで活用してもらえるように、大型絵本は数を増やしています!

貸し出しの詳細はこちら▼



ぽかぽか通信 Vol.1

川崎区役所地域みまもり支援センターによる保健福祉だよりの掲載開始!

今号から、区による掲載がスタートします!みなさまの生活に役立つ保健福祉情報やイベント情報などをお届けしていきます。

イベント情報 ➡『2時間で分かる!ボランティア入門』を開催!

地域のことをもっと知りたい!好きや得意を活かして何か始めたい!
そんな方にぴったりのボランティアが見つかるイベントを開催します。
後日参加者のご希望に応じた見学会や体験会もあります!

日 時:令和8年2月23日(月・祝) 13:30~15:30

場 所:川崎市役所本庁舎2階ホール 定 員:100名(先着順)

申込方法:メール(61keasui@city.kawasaki.jp)・インターネット(HP)

申込期間:2月2日(月)~2月18日(水)

~ボランティアに興味・関心のある方、定年後を見据えて何か始めたい方など誰でもOK!~

紹介するボランティア一覧(一部)

寺子屋、こども食堂、清掃・公園ボランティア、まちの縁側
町内会・自治会、民生委員児童委員、ソーシャルデザインセンター等



詳細はHPをご覧ください

**第6回
ウェーブくんが
行く**

「紙ふうせんの会」について

団体の概要

- 団体名：紙ふうせんの会
- 代 表：井上 まさ子
- 設 立：昭和63年
- 会員数：26名(令和7年10月現在)
- 活動日時：毎月第3水曜日
- 主な活動場所：田島老人いこいの家

活動内容

- ①毎月第3水曜日の定例会
 - ・認知症のご家族について相談、情報共有をしたり、不安や心配事を分かち合う
- ②広報・啓発活動
 - ・イベントへの参加
 - ・認知症サポーター養成講座の開催
 - ・毎月の広報紙発行 など

紙ふうせんの会はどんな会？

月に一度の定例会では、お花を囲み輪になってお話をしています。最近はどう？という近況報告や、こんな時はどうしたら良いのか等、お互いに相槌を打ち、全員で寄り添いながら言葉を交わしています。

会員は26名のうち、半数以上がOBの方々です。認知症の方のサポートを終えられた会員の方も活動を続け、同じ経験をしたからこそ伝えられるアドバイスをしています。

代表の井上さんは、「経験者の人からの話を聞くと納得される方も多い。こんな人もいたんだよ、と他の方も同じ悩みを抱えていたことを伝えて、1人じゃないと思ってもらえた」とお話ししていました。

対象は川崎区のみにとどまらず、過去には「ここでお話をしたら気持ちが楽になった」と中原区から通っていた方もいるそうです。「川崎市認知症ネットワーク」に参加しており、お話を内容に応じて他の加盟団体を紹介するなど、つなぎ役としての機能も担っています。

連絡先

代 表：井上 まさ子
電 話：044-333-0954

**取材
後記**

実際に会に参加させていただくと、時折笑い声が聞こえる明るく和やかな雰囲気で、参加者の方がリラックスしてお話をできる空間だと感じました。

家族が認知症になった時、どう対応すればよいか分からず、とても不安になるものです。そんな時、「紙ふうせん」のように経験者から話を伺い、支援していただける場は、どれほど強く、助かるでしょうか。悩みを話し、アドバイスをもらえる人がいる。「自分は一人ではない」と実感できることが、何より心の支えになります。

スタッフの方が「みんな経験者だからこそ気持ちが分かる」と仰っていた言葉が、とても印象的でした。

定例会の様子

毎月発行している広報紙。文章もイラストも全て手書きです。

川崎市川崎区社会福祉協議会 川崎区ボランティアセンター <https://www.kawasaki-shakyo.jp/>

ホームページをご覧ください！

いっぽ

誰もが皆、誰かの力になれる。「はじめよう！ボランティア！」

お問い合わせ先
TEL: 044-246-5500
Email: kawasaki@csw-kawasaki.or.jp

川崎区ボランティアセンター情報紙

福祉の理解を広めるための取り組みを行っています！

川崎区社会福祉協議会では、「ともに生きる力」の形成を養うことを目的に、学校や企業向けに福祉教育を行っています。

例年、福祉の学習をする学校から依頼をいただき、学習の目的・目標を踏まえ、先生方と一緒にプログラム内容を考えています。社協ではさまざまな福祉用具の貸し出しや講師調整等を行い、学習目標を達成できるようお手伝いしています。高齢者疑似体験や車いす体験、当事者の方々への講話依頼等、ご希望に応じて調整しています。何から始めたら良いか悩んでいるというような相談も大歓迎です。

福祉について理解を深めたい、どのようなことができるか知りたい等、福祉教育についてご相談があるという区内の学校や企業の方は川崎区社協までご連絡ください。

また、福祉教育にご協力いただける施設・団体も募集しています。「こんなことで協力ができる！」ということがありましたら、ぜひ川崎区社協までご連絡をお願いいたします。ご相談、ご協力ともによろしくお願ひいたします。

ボランティア募集

ハナさんハウス高齢者パソコン塾

日 程 毎週金曜日
13:00～15:00

内 容 パソコン・携帯電話・タブレット 使用の指導、相談

会 場 ハナさんハウス
(川崎区渡田新町2-5-1)

会 費 500円

対 象 60歳以上、ボランティア活動者

連絡先 044-333-0089

川崎区総合防災訓練へ参加します！

川崎区社会福祉協議会では、今年度も川崎区内で行われる総合防災訓練へ参加いたします。

昨年度は災害ボランティアセンターの普及啓発として、パネル展示や広報啓発品の配布を行い、多くの方にブースへ立ち寄っていただきました。

今年度についてもパネル展示等を行い、多くの方が災害ボランティアに興味を持っていただければと思っております。

是非、川崎区総合防災訓練へご参加ください。

日 時 令和8年1月31日(土) 午前10時～午前11時30分

場 所 川崎市立東大島小学校(川崎区大島5-25-1)

昨年度の様子

この広報紙は共同募金の配分金などを財源として発行しています。